



# ふなばし 国際交流協会ニュース

(第44号)

2010年3月29日発行



※紙面の都合でニューイヤーパーティーの写真は一部を掲載しました。国際交流協会ホームページにも写真を載せましたので、そちらもご覧下さい。http://www.fira.jp

## ニューイヤーパーティー2010 アジアの国々から“こんにちは”

船橋市国際交流協会主催のニューイヤーパーティーが、2月28日(日)宮本公民館で開催されました。協会は日頃、在住外国人との共生をはかり、「外国人と共に安心して暮らせる街づくり」を実現するためにいろいろな活動をしています。ニューイヤーパーティーは、広く市民が気軽に参加し交流と相互理解を深めることを願って企画されました。

パーティーは11時30分、田村会長、来賓の鈴木市長公室長の挨拶で始まりました。挨拶の後、日本伝統の「香道 振り袖に香を焚き込める所作」の紹介があり、おごそかな雰囲気になりました。

会場内には中国、ベトナム、ミャンマー、インドネシアのブースが設けられ、エスニック料理や展示物が披露されました。さらには日本のお汁粉、インドカレーも

加わって、参加者はいろいろな料理を楽しみながら、味とお話を楽しんでいました。外国の方同士でも会話がはずんでいる風景も見られました。

場外では「餅つき」が行われ、外国の人々も杵をふるって餅つきを体験していました。後で腰が痛くならなければ良いが、と思ったことでした。

12時30分からは、日本のマジックショー、インドネシアからは千葉大の留学生も加わってアンクルン演奏、唄と踊り、ミャンマーのビルマ壺琴の演奏と踊りが披露され、来場者の大きな拍手をもらっていました。

最後は、皆で輪になって「幸せなら手をたたこう」を各国語で大合唱してお開きとなりました。外国人と日本人とが、ともに船橋で生活していることを実感していただける場になりました。 広報委員 中谷、宮

## 西安市歌舞団さよならパーティー

2月12日(金)～17日(水)まで、西安市との友好都市提携15周年記念事業として、西安市歌舞団25名が船橋市を来訪した。

14日(日)に船橋アリーナでの「千人の音楽祭」に出演し、15日には宮本公民館での「西安市歌舞団公演会」



で、峰台小学校音楽部(等)と共演した。

「千人の音楽祭」や峰台小との合同演奏会で多くの市民に感動を与えた。船橋での最後の夜には、これまで交流に関わった皆さんや、ホーム



スティで協力した方々、及び交流協会の会員など50名が参加し、にぎやかに「さよならパーティー」が開催された。

当日は、歌舞団による歌舞や楽器演奏、独唱などの披露があった。

この記念事業は両市にとって、思い出深い、なごやかな「さよならパーティ」であった。 広報委員 中谷

## 国際理解公開セミナー「インドネシア共和国とインドネシア語」

講師 関 恵美子氏 海外職業訓練協会登録日本語講師、当協会の「日本語学習支援者養成講座」講師

2月27日(土)午後6時半から、中央公民館で多数の聴講者を集めて講演会が開催された。氏は、子供の時に



通われたジャカルタ・インターナショナルスクールでのインドネシア語と英語との出会いから言葉に興味を持たれ、25年前から日本語教師をされている。講演では以下のようなことを話された。

- インドネシアってどんな国 人口は約2億3千万人、世界で4番目に多い。1万8千余からなる島々、特にジャワ島などの説明。
- インドネシアの人々 約200～300あるといわれている文化・伝統・言語・宗教・習慣の違い。インドネシア諸島に渡ってきた時期の違いとか、変化の多い地形から多様な民族が存在している。

●名前について 通常は民族の伝統的な命名法を維持しているため、名前からおおよその出身地が分かる。

●インドネシアの統一 独立までの道のり。ジャワ人が最多のため、ジャワ文化が優勢になりがちで、それを是正するために、国章「ガルダ」に多民族統一のための理念を表している。

●インドネシア語ってどんな言葉 生い立ちと現在の統一語(マレー語)の説明。簡単な会話の練習。



最後の全員参加の会話練習では、インドネシア語が達者な方も多数おられることが分かり、なごやかな雰囲気うちに終了した。

広報委員 中川

## 日本料理基礎講座

文化交流グループの今年度最後のイベント、「日本料理基礎講座」が2月20日(土)に宮本公民館の料理実習室にて朝10時から午後2時まで行われました。

メニューは房総太巻寿司、茶碗蒸し、ほうれんそうの胡麻和え、白玉ぜんざい、大根の浅漬の5種類で、講師の田中恵子さんのご指導のもとに35人が腕を奮いました。

参加者のうち半数が外国人の方々でしたが、特に、できあがりのきれいな太巻寿司に興味を持っている人が多く、講師の手順通りに熱心に作り上げていました。そして、お互いのできあがった太巻寿司を見せ合いながら、善後のように見える切り口にとっても感心していました。

次の茶碗蒸しも、卵を混ぜる時の注意点、時間差で2回に分けて具を並べて蒸し器にかけること、三つ葉と



ゆずは蒸し上がった後に入れることなど気にしながら蒸し器にかけていました。

最初の太巻寿司

に時間がかかり過ぎ、後のメニューが押せ押せになったため、5種類のメニューができたのは午後1時30分近く



になっていました。皆お腹ぺこぺこの状態でしたが、それぞれのグループで自分たちが作った料理を味わいながら、また家でも作ってみようかなという気持ちになったようでした。善後寿司も茶碗蒸しも大変好評でした。寿司は外国の方に大変人気がありますが、特に房総太巻寿司は切り口がとても芸術的なので、自分の国に帰って作りたいと言っている人もいました。 広報委員 塚原



## 外国人の働いている職場訪問（第4回）

### タカヤスクリーニング

藤原の法典公園(グラスポ)の正面にある「株式会社タカヤス」商標を「ちゃんび」とし、象のマークで親しまれている、クリーニング業界屈指の会社。そこで働く人々をたずねました。

取材に何って感じたことは、社員の方々の活気とその意欲でした。社是が「洗心誠意」ということからもうなずけるでしょう。

会社には中国、フィリピン、韓国などから13名の外国の方が働いています。その生活ぶりや、これからの希望をきいてみました。この取材に協力していただいたのは韓国・中国・フィリピン(2名)の合計4名の女性の皆さまです。

まず、韓国の李 松淑さん。3年ほど日本に留学し、その後、再来日という形で7年。今では、クリーニング師の資格を取得し、取次ぎ店を任される立派な店長とのこと。営業から経営まで店のすべてを担うキャリアウーマン。日本にきて良かったことは？と声をかけると「この会社、この仕事に巡りあえたことです。そのことに感謝しながら仕事をさせていただいております。」という謙虚な女性経営者の顔になりました。



次に中国から来日14年、この会社で4年半、7歳と5歳のお母さん松山利沙さん。日本はいかがですか、という質問に、「とても子供を育てやすいですね。中国の北京ではこのような訳にはいかないでしょうから…」とニコリ。「これからは子供に喜んでもらえる日本の料理を勉強したいですね。」と、母親の顔になりました。

フィリピンから来て4年という内海グロリアさんは日本での永住権も取得。ご主人が山形生まれということもあって、温泉が大好きです。彼女の育った国は温泉に入る習慣がないが日本の温泉はお気に入り。これからは漢字を覚えたいです。今は4年生のお子さんから習っているというほほ笑ましさ。子供さんが小学校を卒業するころにはきっと漢字には不自由がないでしょう…。

長谷川マリリンさんもフィリピンのご出身。この工場に働いて2年。日本に来て一番良かったことはご主人と巡り会えたこと。ご主人の親ごさんの看病もしましたが、よい人たちなのでとても良かったです。とうれしそうにニコリ。これからは文化的なことに興味があるので、ボランティアの活動の場があればうれしいとのこと。交流協会にお誘いしました。 広報委員 田嶋

## アーイー！ ニイハオ!! (小母さん、こんにちは)

三咲 野上 純子さん

西安市との友好都市提携15周年事業の一環として、2月12日(金)から17日(水)まで西安市歌舞団が船橋を訪れ、ホームステイを通じて市民との交流も行われました。ホストファミリーの体験報告です。

わが家には30代の主婦2名がやって来た。初対面のあいさつは勢いよく中国語で交わしたものの、後は習いたてのフレーズあり、辞書を引き引き組み立てたフレーズあり、漢字筆談あり、究極は携帯で知人の中国人に通訳をSOS。ある程度英語が通じるのではという樂觀的予測は見事にはずれ、中国語会話に苦しんだ4日間だった。おかげで中国語の進歩は実感でき、1年分にも相当する学習成果を得た。

これまで英語圏から数回ホームステイを受け入れた経験があり、ことばが多少不自由でも日常生活の場面ではなんとかなるだろうと遠慮していた。案の定、ことば以外では旧知のような気安さで楽しい4日間だった。

さすが主婦。家の中の観察や関心が鋭い。レンジ台兼用の米びつを見て、「これはまだ中国にない。便利であったらいいな。」1部屋を提供する為、不要物を2階の寝室へ押し込んでおいた。「アーイー！2階も見てみたい。」不(No)とは言えず、是(Yes)と言って案内する破目になった。悪天候で数日分の洗濯物が洗濯機にぶら

下がっていたが、そこは主婦の力量で曰く「毎日、天気が悪いからね」。気配りに感謝。

最後の晩、とうとうハブニング。浴室から「アーイー！来て！」の悲鳴に駆けつけた。お湯が出ないのだ！この寒さに！！いろいろやってみたが不。震える彼女は恥じらいも忘れて露な姿を見せた。冷静に考えたら昨夜の停電時に温水器がoffになったままだった。



さよならパーティーにて

あなたもホストファミリーを体験してみたいはいかがですか。お問い合わせは事務局へ。TEL 047-436-2083

## ズームアップ

### A L T (Assistant Language Teacher) の紹介(第4回) ジョセフ(Joseph Alfred Magtibay)先生

今回はハイワード市からお見えのジョセフ(Joseph Alfred Magtibay)先生にお話しをうかがいました。ジョセフ先生は、現在船橋市の坪井中学校で教えておられます。



Q 坪井中学校のクラスの様子を教えてください。

私のクラスは、簡単な会話練習を全て英語で行っています。生徒たちが英語を理解できない時は、ジェスチャーをまじえて授業を行います。1年生と2年生はとてもエネルギッシュで、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとしますが、3年生になると高校入試を意識し始めるので、試験に影響のない会話練習に消極的になるようです。

Q 日本とアメリカの中学校の違いを感じますか。

私は、日本の中学生が1つの教室で1日を過ごし、掃除まで一緒にするのを見て驚きました。アメリカでは、生徒が掃除をすることはありません。また授業ごとに教室を移動し同じメンバーで長く時間を共有することはありません。日本の生徒は、アメリカの生徒よりクラスメートとの強い結びつきがあり協調性に富んでいると思います。一方アメリカの生徒は、より多くの人と一緒に勉強するので、違う人種の、異なる生活様式にふれる機会が多いと思います。

将来は、教育行政にかかわって教科書や指導法の改善に取り組んだり、人の和を大切にしたいです。

広報委員 福井

## 日本語短期即習講座 第1期生卒業

国際交流協会の日本語教室委員会で、今年度新たな試みとして行った3ヶ月の初級日本語講座は、去る12月24日の最終回に田村会長出席のもと、修了式が行われました。受講者8名の内7名が、全18回中規定の15回以上出席し、無事修了証を手にすることができました。活動中の7教室から募ったボランティアも総勢14名集まり、この講座のために、来日して初めての3ヶ月で緊急に必要な



日本語とは何かを真剣に話し合いました。終了後のアンケートでは「会話中心の授業が役に立った」「丁度良い長さだった」「知人に紹介したい」「今

後は協会の活動にも参加したい」とほとんどの方が答えていました。同期生の仲間もできたようで、楽しく有意義な講座になったと思います。22年度も5月と9月からの2回予定しています。案内ができましたら、是非近くの外の方に声をかけていただければと思います。



## お知らせ

### 平成22年度総会を開催します

21年度の事業報告及び22年度の事業計画等を審議、決定するため下記のとおり総会を開催します。

なお、総会資料は、後日会員の皆さんに送付いたします。

日時 平成22年5月20日(木)午後3時から

会場 船橋市役所11階大会議室

(船橋市湊町2-10-25)

### 平成22年度の会費納入のお願い

協会の会費は、年度会費です。毎年4月から翌年3月までの1年間の会費です。

同封の「払込取扱票」でお近くのゆうちょ銀行からお振り込みください。

なお、できるだけ銀行口座への振込にご協力ください。

<年会費> 個人 一口 1,000円

法人・団体 一口10,000円

※二口以上の場合はお手数ですが通帳欄に口数記入のご協力をお願いします。

### <振込先>

ゆうちょ銀行

口座番号記号 00170-7-57755

加入者名 船橋市国際交流協会

千葉銀行船橋市役所出張所

口座番号 普通 3018415

口座名義人 船橋市国際交流協会

会長 田村 泰一

### あとがき

日差しに誘われ、房総の花ドライブと洒落てみた。さすがに千葉は春花の王国。

しかし芳しい花の向こうに里山が荒れ果てている。雑木林も杉の植林も手が入らなくなった途端に竹の影に駆逐されて今は見る影もない。その竹も又繁殖しすぎて病害にて衰えて行くそうです。

里山を復活させようとボランティアが動きだしたようです。

その昔、安らぎをくれた里山に思いをのせて国際交流協会も若さとやさしさを保ちたいものです。

(S W)